

ごみの減量・再資源化に関する市民説明会 概要
【丸子文化会館】

1 開催概要

開催日時		令和 8 年 6 月 30 日(火) 19:00～20:10
開催場所		丸子文化会館 大会議室
出席者	市民	25 名
	行政(市職員)	環境部長、 ごみ減量企画室3名、廃棄物対策課2名、 資源循環型施設建設関連事業課 1 名、 丸子市民サービス課職員 2 名

2 主な質疑応答

No	項目	質問・意見等	回答
1	外国人対応	外国人が、未分別・生ごみのみ大量に入れるなどルール・モラルが守られていないが、言葉が通じず理解してもらえない。分別の冊子もその方々の言語に対応していないため、言語に対応した外国人でも分かる冊子類を用意するなど対応をお願いしたい。	日本語学校で全学生約 460 名に対しごみの出し方教室を実施し、改善が見られた。会社寮で状況が悪ければ会社に行って講義・指導したこともある。文化の違い・言葉の壁もあり難しいが、地道な周知・啓発に努めてまいりたい。
2	環境教育	子どもが小学生でごみ処理施設の見学に行ったが、中学・高校でそのような教育の機会はあるのか。	稀に中高生が個別に学びにくることはあるが、大々的には取り組めていないため検討していきたい。
3	違反ごみ	自治会のごみステーションのプレートをさんあ〜るの QR コード付きのものに変えたら違反ごみはかなり減って効果があった。	さんあ〜るアプリはごみ出し日の通知、分別の検索等が可能で、英語・ベトナム語・中国語・ポルトガル語に対応している。 今年度新たな取り組みとして、転入者に分別の冊子ではなくアプリのチラシをお渡しし、利用者が増えている。

4	ごみ減量化 機器購入費 補助金	当補助金について、市内の販売店での購入と限定されているが、ネット購入も可能としてほしい。	令和 5 年度まではネット購入も可能だったが、県外業者から特定のメーカーの処理機を市が推奨しているかのようなチラシが配布され、購入が相次いだ。その後の利用調査で「思っているものと違った」「電気代が思いのほかかかった」などで利用を中止する方が多い状況があり、購入前に実物を見て長く使っていただくことを目的としたことが理由である。 また市内販売店から機器を購入してもらうことによる、地域経済の活性化も理由である。
5	ごみ量	燃やせるごみ量や資源物回収量が減少しているのは人口減少との相関関係はあるのか。 また 1 人あたりのごみ量の推移はどうか。	燃やせるごみ量の減少は全国的な傾向であり、人口減少も関係している。その他の要因として、コロナ禍によりライフスタイルが変化し、売り方・買い方が変わったこともあげられる。 1 人あたりのごみ排出量も年々減少している。長野県は全国的にもトップクラスであり、県内でみても上田市は上位にある。